

保護者文庫だより 秋号

学習センターでは、子育てに励む保護者の方を支援すべく保護者文庫を設置しております。詳しくは父母の会総会でお渡しした保護者文庫一覧を参考になさってください。

図書はお子さんを通じて貸出しております。保護者文庫にかぎらず学習センターにある図書の貸出も行いますので、是非ご利用ください。新刊書の情報については、毎月お子様に配布しております「学習センターだより」をご覧ください。

本校HP内の学習センターURL (<http://www.mediacenter-ryukoku.jp>) から館内全ての本が検索できます。

『親が知らない子どものスマホ』

鈴木 朋子 著/日経BPマーケティング

現在高校生の99.4%がスマートフォンを持っています。SNSもLINEやTwitterだけでなく、様々なアプリを使用しているようです。

簡単に他人とつながることが出来る世の中。座間で9人殺された事件もSNSから知り合ったものでした。その他にもSNSを利用した様々な事件が後を絶ちません。子どもたちは便利さの裏にある怖さを知らず、また、大人はSNSアプリの高度な機能を知らないまま、日々過ごしており、気が付くとインターネットによるいじめや犯罪に巻き込まれているということもあります。

この本はシステムエンジニアとして従事していた著者が専門家の視点から、高校生がよく使用するアプリの機能と危険性について解説し、犯罪に巻き込まれないための方法を伝授してくれます。携帯会社が推進している「あんしんフィルター」は不十分であることや、節約のためにアカウントやパスワードを共有している子がいるなど、親が知っていなければいけない情報がたくさん掲載されており、子を持つ私としては改めて子どもにスマホを持つ際にリスクを教え、親子間のルール設定を明確にしなければならないことを痛感させられました。

正直、SNSに興味のない私のような者にとっては本文全てを読むのは少々苦痛です。そんな方は、小見出しと「まとめ」のみを読んで、詳しく知りたいところだけ本文を読むと良いでしょう。それだけでとても勉強になります。

危険性だけでなく、便利な機能についても教えてくれるので、親子で一緒に読み、分からないところは子どもに聞いて、子どもとコミュニケーションをとりつつ一緒にルールを考えていけると良いですね。

(文責：相原)



『子どもを攻撃せずにはられない親』片田 珠美 著/PHP 研究所



子どもの幸せを願い、「高いレベルの学校」に入れ、「一流企業」や「公務員」に就職することを願う親は多いでしょう。安定した職業につけば、給料も高く、子どもが幸せに暮らせると思うからです。そのため、ついつい子どもに勉強を強要してしまいがち。しかしそれは親自身の「立派な子どもを育てたすごい親」という自尊心を満足させるため、「高学歴で一流企業に入った」子どもを自慢できる」という思惑、その他の打算が潜んでいることが少なくないといえます。

子どもに愛情とお金をかけて育て、何の見返りも求めない「無償の愛」が正しいはずなのに、知らず知らずのうちに打算が入り、支配欲求を満たし、それが虐待や家庭内暴力、子殺しにまで繋がる恐れを説いているこの本は、親が子どもに期待しすぎることの危険性を教えてくれます。

子は親の所有物ではありません。子ども自身が自分の将来を考えながら動けるようサポートするのが親の仕事です。必要以上に口を出したり、手を差し伸べたりせず、黙って見守ってあげることができる器の大きい親を目指したいものです。(文責：相原)